

ひろつか



おもしろいきり シュート!

「いけーっ!」「そこだっ!」

馬入サッカー場に子どもたちの声が響きます。富士見地区を中心に活動するサッカークラブ「FC^{エフシー}アルファ」は6月中旬、感染症対策を万全にした上で、休止していた練習を再開しました。今号では、新型コロナウイルス感染症に負けずに再び活動し始めた、地域の団体を紹介します。

新型コロナウイルス関連記事は8面

目次

1～3面…**特集** 地域のチカラで踏み出す一歩…新型コロナに負けず活動を再開した団体を紹介します。
4～7面…募集・健康と福祉・お知らせ・「プレイバックひろつか」
「子どもの健康」など

8面…新型コロナウイルス関連記事・「市長コラム」など
広報ひろつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。
アプリ「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版をご覧いただけます。



地域のチカラで踏み出す一歩

新型コロナウイルス感染症の流行は続いています。感染対策を万全にした上で、市内の多くの団体が活動を再開し始めました。歩みはまだ小さいですが、コロナに負けずに動き始めた団体を紹介します。

☎ 広報課 21-8761

サッカーができる環境を守る

FCアルファ

「足をもっとリズムカルに動かそう!」。

7月22日、梅雨空を吹き飛ばすような熱気に包まれた馬入ふれあい公園の馬入サッカー場で、サッカークラブ「FCアルファ」のコーチが子どもたちに声を掛けます。同クラブは富士見地区を中心に活動しており、メンバーは市内外の小学生が中心です。新型コロナウイルス感染症の影響で活動を休止していましたが、6月中旬から、本来は4時間の練習を2時間に短縮して練習を再開。富士見小学校のグラウンドや桜ヶ丘公園をはじめとする市内各所で、子どもたちが元気にボールを追いかけています。

「クラブの目標は『サッカーを楽しむ』です。子どもはもちろん、ボランティアで指導するコーチ、つまり大人も一緒に楽しむことで良い

指導ができますし、子どもの成長にもつながります」と話すのは、同クラブ総監督の原康人さん。平成9年から20年以上総監督を務め、コーチへの助言から練習試合のセットイングなど裏方の仕事まで、クラブの運営全般に力を注いでいます。「子どもがスポーツを通して成長していく瞬間は、毎回感動します。指導する側も、より一層やる気が湧いてきますね」と目を細めます。

良いところを取り入れて

「受付時の検温や手洗いが、アルコール消毒の徹底は当然として、『練習で使うビブスの使い回しを禁止する』など、より厳密な感染対策を指示しています」と原さんは話します。他にも、汗拭きタオルの貸し借りをしないこ



一人一人が離れて練習しています



練習前には検温も忘れません

油断せずに対策を続ける

「感染対策は継続することが一番大切です」と原さんは力を込めます。同クラブでは、定期的にコーチや保護者を通してチーム全体へ呼び掛けることで、感染対策を忘れないように意識付けています。「子どもも大人もいかに油断せず対策を続けていけるか、ということが課題になると思います。今後も気を緩めず、子どもたちが元気に練習できる環境を守っていききたいですね」。

「受付時の検温や手洗いが、アルコール消毒の徹底は当然として、『練習で使うビブスの使い回しを禁止する』など、より厳密な感染対策を指示しています」と原さんは話します。他にも、汗拭きタオルの貸し借りをしないこ

これからも歌を楽しむために

フェリーチェ歌の会

旧横浜ゴム平塚製造所記念館(八幡山の洋館)の一室から響き渡る、ソプラノの歌声とピアノの旋律——。ここ八幡山の洋館でも、新型コロナウイルス感染症の脅威に負けずに、徐々に活動を再開し始める団体が増えてきました。2カ月に一度、メンバー全員が洋館に集まって活動する、フェリーチェ歌の会もその一つです。「みんなで集まって、ピアノやギターの伴奏で楽しく歌っています。洋館で活動する団体が成果を披露し合う『遊館日』にも出演しています

が、メンバーそれぞれがいろんなジャンルの歌を歌うので、お客さんには好評なんです」と話すのは、同会の富田武さん。同会は平成22年に有志で結成して以来、洋館で活動を続けてきました。

歌いやすさよりも感染対策を

「歌を歌うので、何よりもまず『安全第一』で活動しています」と富田さんは話します。同会では今年の3月にも集まる予定でしたが、感染の拡大を防ぐために中止しました。およそ半年ぶりとなった7月の集まりでも、「感染対策を万全にして音楽を楽しむ」ことを常に意識しているそうです。「洋館の新型コロナウイルス感染症チェックリストにもあるとおり、活動の前後や休憩時に手指を消毒すること、歌うときはマスクをして人と人との距離を確保すること、窓やドアを常に開けて換気することの3つが特に大切です。好きな音楽活動が続けるため、この3本柱を軸に感染対策をしています」と取り組みを話す富田さん。マスクを着けたまま歌うのは息がしばらく大変ですが、感染予

歌うときはマスクを着けて



防のためには必要なことだと言います。

「これからも感染対策を意識しながら、活動を続けていきます。メンバーには、重症化するリスクが高いといわれる高齢の方も多く参加しているので、絶対に感染者は出せませんからね」と力を込める富田さん。今後の活動でも、自分たちでできる対策を試していきます。「感染対策に関する新たな情報があれば積極的に学んで実践し、安心して歌を楽しめる環境を作っていきたいです」と笑顔を見せます。



距離をとって活動します

いつでも安心な避難所を

金目中学校避難所運営委員会

災害が発生した場合、避難所への避難が必要になる場合があります。しかし多くの人が集まる避難所は「密」になりやすい場所でもあります。コロナ禍の中、大勢が避難生活をする場所で感染を広げないために、各避難所には工夫を凝らすことが求められています。

7月16日、避難所の一つである金目中学校(南金目1013-2)では、本年度になって初めて、防災リーダーや自治会の代表者らを集めた避難所運営委員会の会議が開かれま



防災倉庫を点検する秋山さん

した。「本来は年度が始まってからすぐ開くべきなのでしょうが、感染拡大を防ぐために会議を開けない状態が続いていました」と話すのは、片岡北自治会長の秋山博さん。同自治会の会長を10年以上務め、金目中学校の避難所運営に携わってきました。「会議に参加する人数を通常の半分以下に減らし、密状態になるのを避けています。書面会議で済ませるという方法もありましたが、やはり対面することですっかりと意識を共有できますからね」とほほ笑みます。

避難者の協力が大切

会議では避難者に対し、受付時の検温やマスク着用、手洗いうがいなどを呼び掛けることを確認しました。また、避難者を体育館などに受け入れた場合は、一度に入れる人数を調整して身体的距離を確保するなど、万全の感染対策が取れるようにしています。ただ、避難所での感染拡大を防止するために一番大切なことは避難者の協力だ、と秋山さんは力を込めます。「避難所で用意できるものは、実はそれほど多くはあ

りません。マスクや消毒液などは数が限られていますから、避難してくる方にはできるだけ持ってきてもらいたいです。感染が拡大する恐れがある今の状況では、避難者も自分の身を守る感染対策をすることが重要です」。

日頃からの関係づくりを

災害時に避難者、つまり住民に協力してもらうには、日頃から隣近所で呼び掛けをするなど、人間関係づくりが大切だと秋山さんは話します。「私は片岡の自治会館に毎日、自作の瓦版を掲示しています。感染対策の情報などを住民に周知するのにもちょうどよく、避難するに当たってのお願いなども掲載していくつもりです」。今後は、他の避難所と災害対応のワークショップを開くなどして、避難所と住民だけでなく、避難所相互の関係づくりをして災害に備えたい、と力強く語ってくれました。



委員会のメンバーでハザードマップを再確認

学びの場を提供し続ける

花水地区町内福祉村

「ゴミ出しを手伝ってほしのだけど...」。

「ボランティアをしたいけどきつかけがなくて...」。

日常的なことで手助けがほしい、または手助けしたいという住民が共に支え合うための活動をする拠点が「町内福祉村」です。現在、市内に18の福祉村があり、それぞれの地域の個性を生かした事業に取り組んでいます。

子どもたちへの支援を継続

花水地区町内福祉村では、昨年の7月から、花水小学校と連携して小学生への学習支援を始めました。ボランティアの指導員が、全ての子どもに対してマンツーマンで教えています。今年の2月を最後



用具や机は小まめに消毒します

に対面での指導を休止していましたが、感染対策をした上で、7月から再開しました。「ボランティアの皆さんからの提案で、4月中旬からプリントを使った添削指導を始めました。勉強を教えるにはやはり、対面するのが一番ですね」と話すのは、同福祉村会長の宮田憲二さん(左写真)。5年前に同福祉村の活動に加わり、高齢者同士の交流の場などを立ち上げてきました。「添削指導のおかげで、福祉村の休止中も子どもたちとのつながりは途切れませんでした。毎回笑顔で来てくれる子どもたちを見ています。教える私たちも元気になりますね」とほほ笑みます。ボランティアには、バリ



パーティション越しですが、直接指導することで活気が戻りました

ろっています。「全員がとても熱心に教えているので、子どもたちもすぐに親しくなり、来るのを楽しみにしてくれています。学習支援は、ただ勉強を教える場というだけでなく、ボランティアと子どもたちのよい交流の場にもなっていると感じますね」。

これからも工夫して対策を

室内で、かつ顔を合わせて教える学習支援ですが、工夫次第で感染拡大を十分に防ぐことができると思います。「活動場所である南部福祉会館からは、部屋の使用人数を半分に減らすことを指示されましたが、学習支援ではさら

に踏み込んだ対策をしています。学びに来る子どもには事前の検温をお願いし、入室前に手を洗ってもらっていますよ」と話す宮田さん。勉強を教える時には、ブックスタンドやアクリル板、クリップで手作りしたパーティションを子どもとの間に設置し、使用後は毎回消毒して感染のリスクを減らします。部屋に入る人数が半分に減ったことに対しては、活動する部屋を1部屋から2部屋に増やすことと対応しています。「これからも子どもたちに寄り添った学習支援になるよう考えながら、安全な環境の中で楽しく教えていきたいですね」と笑顔を見せます。

プレイバック ひらつか

平塚
市役所

市が撮りためた写真の中から、昭和の平塚市の風景を紹介します。当時を知る方は、懐かしい記憶がよみがえるのではないのでしょうか。今回のテーマは、平塚市役所です。

問 広報課 ☎21-8761

庁舎の外観

旧本庁舎(①)は4階建てで、向かって右側の屋根上には1,000人を収容できる屋上集会場などを備えていました。向かって左側の議事堂(②)は別棟で、壁面には、総合美術を手掛けた小野襄の彫刻「静と動」が大胆にあしらわれていました。建物の外観やバルコニーの形など、旧本庁舎の意匠は現在の本館(③)に受け継がれています。

①昭和39年(1964年)②昭和41年(1966年)
③令和2年(2020年)



①



②



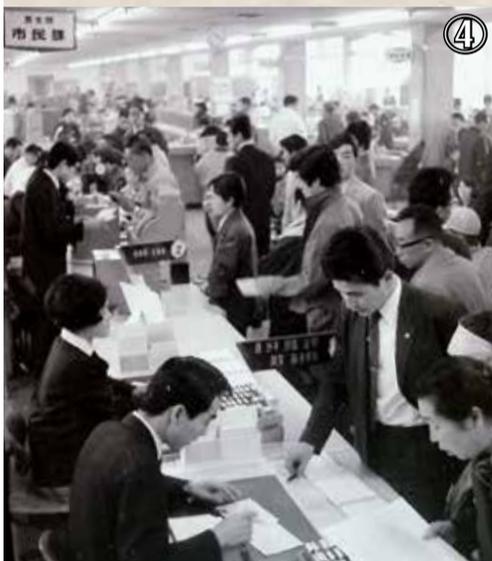
③

待望の「新庁舎」

旧本庁舎は昭和39年11月3日に落成。当時の広報ひらつか(昭和39年10月15日号)の1面に掲載されました。記事に「平塚市として待望のものであつたと申せます」とあり、新しい庁舎の完成が強く待ち望まれていたことがうかがえます。



当時の広報紙は市ウェブで
ご覧いただけます



④



⑤

窓口風景

旧本庁舎正面に向かって右側の平屋建て部分には、戸籍や住民票などを取り扱う市民課をはじめ、市民がよく利用する窓口が通路の左右にありました(④)。繁忙期の混雑具合は現在と変わらないようです。

また、旧本庁舎の正面玄関に入ってすぐ右には庁舎内の案内係がいて、奥の部屋には市民相談室がありました(⑤)。

④昭和45年(1970年)⑤昭和43年(1968年)

記憶を伝える

庁舎の建て替えに当たり、旧庁舎の室内装飾を移設しました。旧本庁舎1階ホールの壁面(⑥)にあったレリーフとガラリ(換気口の目隠し)もその一つです。

現在、レリーフは本館8階の市議会議場前のラウンジ(⑦)に、ガラリは4階の秘書課入口(⑧)にあり、市民と職員を見守っています。

⑥昭和42年(1967年)⑦⑧令和2年(2020年)



⑥



⑦



⑧

広報紙をより良いものとするためにウェブアンケートを実施しています。ご意見をお寄せください。右の2次元コードからアンケートページにアクセスできます。



谷戸田で稲刈り体験



自然豊かな里山で稲刈りをしませんか。

9月26日(土)午前10時～午後1時。雨天の場合は27日(日)に延期。里山体験フィールド(土屋1076付近)。市内在住の方20人(抽選・1グループ5人まで)。雨具・帽子・軍手・タオル・飲み物・着替え。作業のできる服装でお越しください。
 代表者の**必要事項**と参加者全員の氏名・生年月日を、電話・はがき・ファクス・メールまたは直接、9月4日(金)午後3時まで、本館5階の**環境保全課**☎23-9969FAX21-9603✉k-hozen-event@へ。

募集

応募方法は
下段

馬入水辺の楽校 五感を磨く自然観察

自然の中で生き物と触れ合いませんか。

9月12日(土)午前9時～午後0時30分。雨天中止。相模川河川敷の馬入水辺の楽校風車前に集合。小学生以上の方20人(先着順・小学生は保護者同伴)。帽子・軍手・飲み物・筆記用具・ノート。500円。
 参加者全員の**必要事項**・年齢を、往復はがき・メールで、**みどり公園・水辺課**☎21-9852✉midori@へ。

学童保育補助スタッフ養成講習会

10月27日(火)・30日(金)、全4回、午前9時30分～午後3時30分。青少年会館・勤労会館。全ての日程に出席できる市内在住・在勤の60歳以上

で、生きがい事業団の会員または入会登録説明会を受講した方15人(選考)。昼食・筆記用具。運動のできる服装・靴でお越しください。

本館1階の高齢福祉課や生きがい事業団ウェブなどにある申込書を、郵送・ファクスで、10月6日(火)までに、〒231-0026横浜市中区寿町1-4 県シルバー人材センター連合会☎045-633-5432FAX045-633-5433へ。

プレママ 防災セミナー

午前10時～11時30分。保健センター。市内在住の2歳以下の子どもと保護者、各15組(先着順)。筆記用具。

知識編 赤ちゃんと家族を守るための災害対策を学びます。9月16日(水)。
 実践編 紙コップを使った授乳法などを学びます。29日

自分に合った仕事を知らう

火曜日。勤労会館。15～49歳の仕事を探している方、各6人(先着順)。
 レイネズ講座 自分がどのような仕事に興味や関心を持っているかを分析します。9月1日。午前10時～正午。職業適性を分析します。15日。午前10時～11時。

電話で、**県西部地域若者サポートステーション**☎0465-32-4115へ。

木造住宅の耐震相談会

旧耐震基準で建てられた木造住宅の耐震化を建築士に相談できます。

9月16日(水)、午前9時～10時30分・10時～11時30分。

(火)。エプロン・タオル・おむつ・着替え・飲み物。
 電話または直接、**健康課**☎55-2111へ。

地域の行事に イベント用品を貸し出します

自治会や子ども会などによる地域住民との触れ合い活動にイベント用品を貸し出します。10月～令和3年3月の先行予約を受け付けます。

貸出期間は5日以内。抽選。先行予約期間の終了後は先着順。貸し出すイベント用品は、ポップコーン機・わた菓子機・かき氷機・発電機・焼きそば台・焼き物器・おでん鍋・テント・ワイヤレスアンプ・マイク。
 電話または直接、8月31日(月)までに、本館7階の**協働推進課**☎21-9618へ。



中小企業のための人材確保セミナー

新型コロナウイルスの影響で起きている、今後の採用活動や人材定着などの変化を学びます。オンラインのセミナー

当事者同士で集い、意見交換やゲームなどをします。

9月12日(土)午前10時～午後5時。青少年会館。不登校・引きこもりの子どもと保護者8人(先着順)。室内履き。

氏名・電話番号・人数を、電話・メールで、**ぜんしん**☎23-1177✉ryoz@lifesty-le-cps.sakurane.jpへ。

不登校・引きこもりを改善しませんか

電話または直接、本館6階の**建築指導課**☎21-9731へ。

農福連携コーディネーター育成研修講座

障がい者の一般的な特性などを学び、農業分野と福祉分野をマッチングするための知識を習得します。

9月18日・25日の金曜日、全2回、午前10時～正午。教育会館など。25人(先着順)。筆記用具。

必要事項・メールアドレス(農協や福祉施設などの職員は所属も)を、電話・ファクス・メールで、**湘南NPOサポートセンター**☎070-6662-2455FAX35-1773✉shonan@snpsc.orgへ。

市民演劇フェスティバル

市内を中心に活動している五つの劇団が、個性豊かな舞台を繰り広げます。出演する劇団など、詳しくはまちづくり財団ウェブをご覧ください。

9月27日(日)、第1部は午前10時30分・第2部は午後2時30分開演。中央公民館。300人(抽選・定員は変更になることがあります)。

代表者の**必要事項**と年齢・希望する部・人数(5人まで)を、往復はがきで、9月12日(土)までに、〒254-0045見附町31-10**まちづくり財団文化事業課**☎32-2237へ。



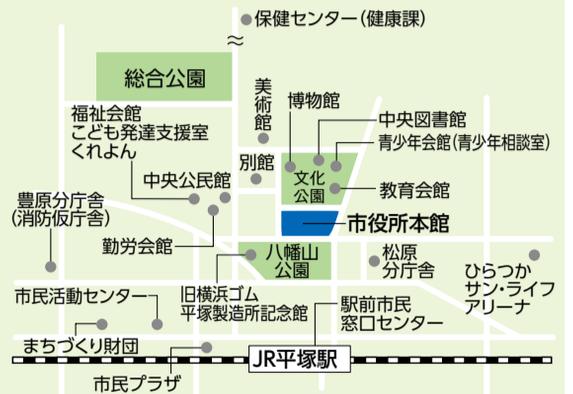
応募方法

■**必要事項**とある場合、**郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号**をご記入ください。

■市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。

■募集開始日の記載がない場合、**8月24日(月)**午前8時30分から、受け付けます。

■メールの応募の場合✉以下にcity.hiratsuka.kanagawa.jpを付けてください。



記入例

往復はがき		郵送・ファクス・メール	
住所	〒0000000	イベント名	郵便番号
氏名	住所	住所	住所
	全員の氏名	全員の氏名	全員の氏名
	電話番号	電話番号	電話番号
	その他の事項	その他の事項	その他の事項
返信	往信		

健康と福祉

応募方法は5面

認知症サポーター養成講座

知識と対応方法を学び、認知症への理解を深めませんか。修了後にサポーターの証しとしてオレンジリングを配ります。

9月26日(土)午前10時30分～正午。富士見公民館(中里11-21)。市内在住・在勤の方15人(先着順)。筆記用具・飲み物・マスク。
電話で、高齢者よろず相談センターふじみ ☎30-5010へ。

市民公開講座

児童虐待と虫歯や生活習慣の関係などの話をします。
9月13日(日)午後2時～4時。中央公民館。200人(当日)

認知症予防教室



講話を聴いて、認知症予防運動のコグニサイズを体験します。



9月10日(木)午後1時30分～3時。大野公民館(東真土2-12-1)。市内在住・在勤の65歳以上の方と家族15人(先着順)。筆記用具・飲み物・室内用運動靴・マスク。動きやすい服装でお越しください。

電話で、高齢者よろず相談センター倉田会 ☎53-1930へ。

先着順)。
平塚歯科医師会 ☎26-8255

点訳基礎講習会

点字を習得し、視覚障がいへの理解を深めませんか。

9月8日、10月13日の火曜日、全5回、午前10時～正午。福祉会館など。15人(先着順)。筆記用具・マスク。600円。
電話または直接、福祉会館 ☎33-00007へ。

家族介護教室

足つぼ体操と脳トレで、介護の疲れを癒やします。

9月24日(木)午前10時30分～正午。直心館中西道場(北金目1-9-17)。福祉・介護事業所関係者を除く、市内

在住の要介護者を介護している方ら10人(先着順・3人以下の場合は中止)。タオル・飲み物・マスク。
電話で、午前10時～午後9時に、直心館中西道場の中西 ☎090-2908-7674へ。

録音図書作成のための音訳初級講習会

パソコンを使って、視覚障がい者向けの録音図書を作成する方法などを学びます。

9月29日、10月27日の火曜日、全5回、午後1時～3時。福祉会館。自宅で音訳・録音編集ができる方15人(先着順)。筆記用具・マスク。500円。
電話または直接、福祉会館 ☎33-00007へ。

福祉教育サポーター養成講座

市内小・中学校の福祉学習のサポートをするボランティアを養成します。

9月10日・17日の木曜日、全2回、午前10時～正午。福祉会館。市内在住の方15人(先着順)。マスク。
電話または直接、福祉会館 ☎33-00007へ。

家族介護リフレッシュ

腰痛肩こり予防プログラムで、日頃の疲れを癒やしませんか。市内在住で家族の介護をしている方。先着順。

①9月4日(金)午前9時30分～午後0時30分。福祉会館。9人②4日1時30分～4時30分。福祉会館。9人③7日(月)午前9時30分～午後0時30分。南部福祉会館(袖ヶ浜20

子どもの健康 ●●●●● 9月

会場は保健センターです。母子健康手帳をお持ちください。詳しくは、市ウェブをご覧ください。

健康課 ☎55-2111

◆母親父親教室(予約制) 出産までのプロセスや育児のポイントなど。25日(金)・26日(土)、午後1時30分～3時30分。妊娠8カ月以降の妊婦と家族15組(先着順)。

◆歯科健康診査(予約制) 歯の健康診査やフッ素体験塗布、相談など。9日(水)午後1時～2時30分、24日(木)午前9時～

10時30分。2歳1カ月児～2歳6カ月児。

◆歯つびい はみがき教室(予約制) 歯の手入れなどを学びます。

★ステップアップ編 17日(木)午前10時～11時。1歳8カ月児～1歳10カ月児。

◆乳児の個別健康診査 4カ月児・8～10カ月児。実施医療機関へ直接お申し込みください。実施医療機関の一覧表は、市ウェブなどにあります。

◆7カ月児相談 成長発達の確認・触れ合い遊びの紹介や各種相談。1日・

15日の火曜日、午前9時～10時に受け付け。

◆育児相談(予約制) 身体計測や生活、歯の衛生、食事、母乳などの育児相談。9日・23日の水曜日、午前9時30分～10時30分に受け付け。40組(先着順)。

◆幼児食教室(予約制) 離乳食から幼児食への移行など。4日(金)午前11時～正午。1歳7カ月児～2歳0カ月児。200円。

◆離乳食教室(予約制) 離乳食の進め方など成長に合わせたコースです。100円。

★5・6カ月児 14日(月)

午後1時30分～2時30分。

★7・8カ月児 18日(金)午後1時30分～2時30分。

◆産後メンタルヘルス(予約制) 臨床心理士による個別相談です。16日(水)午後。育児や生活の悩みなどがあり、主治医のいない方または家族3人(先着順)。

◆産後ルーム ママはぐ(予約制) 赤ちゃんとの触れ合い遊びや産後体操、仲間づくりなど。11日・25日の金曜日、午前10時～午後1時30分。4カ月以内の乳児がいる初産婦で、育児に不安がある方ら10組(先着順)。

糖尿病予防教室

9月28日、10月12日・26日の月曜日、全3回、午前10時～午後0時10分。保健センター。市内在住・在勤で、糖

尿病の治療や医師からの運動制限を受けていない方20人(選考・初めて参加する75歳未満の方を優先)。筆記用具・室内用運動靴・飲み物・タオル・バスタオル・マスク。お持ちの方は健診結果。

必要事項・生年月日・年齢を、電話・ファクス・メールで、9月10日(木)までに、

健康課 ☎55-2111 FAX 55-2136 kanako@。糖

宝くじ公式サイトで宝くじを購入できるようになりました!

お得な特典、便利なサービスいろいろ! 宝くじ公式サイト会員登録ステップ

STEP 1 「宝くじ公式サイト」を検索!
メールアドレスの登録(仮登録)

「宝くじ公式サイト」を検索して、宝くじ公式サイトの新規会員登録ページでメールアドレスを登録(仮登録)します。

STEP 2 会員情報の入力(会員登録)

- 入力いただいたメールアドレス宛に、メールが届きます。
- メールに記載されている会員登録用のURLをクリックします。
- 画面に従って、氏名や生年月日等の情報を入力いただくと新規会員登録が完了します。

宝くじ売り場でポイントをためる/つかうための手続きは以上で完了です。

宝くじ公式サイトで利用可能なクレジットカード発行会社か
本人認証サービス(3Dセキュア)を有効化しているか
クレジットカード発行会社の確認方法、本人認証サービス(3Dセキュア)について詳しくは
https://www.takarakuji-official.jp/special/creditcard_guide/をご確認ください。

STEP 3 決済情報の入力

ネット購入をご利用される方は、宝くじを購入するための「クレジットカード情報」およびおせん金のお受け取りに利用する「口座情報」をご登録ください。

以上で、カンタン・便利な宝くじの「ネット購入」がご利用いただけるようになります!



宝くじ公式サイトはコチラから
宝くじコールセンター
TEL 0570-01-1192 (ナビダイヤル 有料) TEL 011-330-0777 (有料)
受付時間 10:30～18:30 (土・日・祝日、年末年始を除く)
※電話番号を十分ご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

広告

お知らせ

総合防災訓練

本年度は避難所の開設・運営や衛生管理・感染症対策などの訓練をします。訓練は自由に見学できます。会場に直接お越しください。土曜日。午前9時～正午。
①11月7日。吉沢小学校(上吉沢465)②21日。土屋小学校

(土屋3004-2)。
災害対策課 ☎21-9734

LGBTパネル展

9月1日(火)～13日(日)、午前10時～午後9時(1日は正午から)。ららぽーと湘南平塚(天沼10-1)。
人権・男女共同参画課 ☎21-9861

記事の内容が変更される場合があります

新型コロナウイルスの影響により、広報ひらつかに掲載している記事の内容が急ぎよ変更される場合があります。各記事の内容や実施する場合の感染症対策など詳しくは、市ウェブをご覧ください。記事の末尾に記載している電話番号へお問い合わせください。

湘南ひらつか ふれあい マーケット 朝市

地元産の野菜や魚、花などを販売します。8月23日(日)午前7時～8時。平塚地方卸売市場(四之宮1-7-1)。

産業振興課 ☎21-9758



地元で採れた新鮮な野菜などを買いに行きませんか

ラジオ体操&ボウリング

ボウリングで楽しく体を動かし、運動不足を解消しませんか。投球前にラジオ体操をします。午前11時～午後0時30分。各全4回。神奈中平塚ボウル(宝町10-4)。次の条件を全て満たす方、各コース20人(先着順)



①市内在住・在勤②マイボールを持っていない③女性または60歳以上の男性。運動ができる服装でお越しください。

月曜日コース 9月7日～10月5日。

金曜日コース 9月4日～25日。

☎ 電話または直接、8月22日(土)午前11時から、神奈中平塚ボウル ☎23-3786へ。

地域の魅力再発見



山王山公園(日向岡2-1-3)付近

社会教育課 ☎35-8124

根坂間横穴墓群(根坂間地区)

7～8世紀初頭の古墳時代の終わり頃、市内の台地斜面には、多数の横穴墓が造られました。根坂間横穴墓群はその一つで、昭和8年(1933年)、林道工事中に8基発見され、現在は5基が残っています。土器、直刀、玉類が出土しましたが、特に6つの鈴の付いた銅釧は、珍しいものです。出土した遺物の大半は東京国立博物館が所蔵しています。

広報ひらつかに広告を掲載しませんか

広告は広告主が作成し、作成費用は自己負担です。発行部数は約11万5,000部で、市内の全戸にポスティングで配布しています。

掲載は毎月第3金曜日号の4～7面など。各号8枠。掲載位置は選べません。詳しくは市ウェブをご覧ください。

☎ 本館4階の広報課 ☎21-8761や市ウェブにあ

る掲載申込書と広告のデザイン案を、郵送または直接、発行日の60日前までに、同課へ。

1 枠	縦96 ³ リットル×横59 ³ リットル 6万2,000円	3 枠	縦96 ³ リットル×横178 ³ リットル 14万4,000円
2 枠	縦96 ³ リットル×横118 ³ リットル 10万3,000円	4 枠	縦96 ³ リットル×横237 ³ リットル 18万6,000円

次回納期の市税・手数料

納付には、口座振替を利用すると納め忘れがなく便利です。

- ①市県民税(第2期)
- ②国民健康保険料(第3期)
- ③後期高齢者医療保険料(第2期)
- ④介護保険料(第3期)
- ⑤清掃し尿従量手数料(第5期)

納期限 8月31日(月)

① 納税課 ☎21-8769
② 保険年金課 ☎21-8775
③ 保険年金課 ☎21-9768
④ 介護保険課 ☎71-5238
⑤ 収集業務課 ☎21-8796

広告

神奈川県民のための

火災共済

共済金等について約88%の方に

支払いが早かった

と感じていただけました!



*2018年度当組合から共済金・見舞金をお受取になられた組合員の皆様に行った「共済金・見舞金のお支払についてのアンケート」結果によるもの。

火災のほか

*イラストはイメージです。



水漏れ・落雷・盗難に伴う破壊なども保障!

例えば700万円の保障で 年間掛金

マンション等 耐火構造・専用住宅 2,800円

木造・準耐火等 非耐火構造・専用住宅 5,600円

*新規契約時には、出資金100円が必要です。

当組合のホームページからカンタンに資料請求いただけます!

横浜市民共済生活協同組合 大和事務所
〒242-0017 大和市大和東三丁目8-3 大和第一生命ビル1階



～組合員のみなさまが火災等に遭ったとき、互いに助け合う制度です～
0120-579-998
広告内容は概要のため、詳細は左記までお問い合わせください。



お忘れではありませんか？ 10万円給付の申請は 9月1日(火)まで

国から1人につき10万円が支給される特別定額給付金の、申請がまだ済んでいない方へ、申請を案内するはがきを7月末に発送しました。手元に申請書がない場合や書き方が分からない場合などは、お問い合わせください。

申請期限を過ぎての申請は、受け付けることができません。申請が済んでいない方は、できるだけ早く申請してください。

☎ 市特別定額給付金専用コールセンター ☎79-5956

新型コロナウイルス関連記事

新しい生活様式を実践しよう！

妊娠中の方に タクシー利用券を 配ります

定期的な健康診査などのために外出する必要がある妊娠中の方が、新型コロナウイルス感染症に感染するのを防ぐため、市が1人当たり1万円分のタクシー利用券を配ります。対象は、市内在住で令和2年4月1日～12月31日(木)に母子手帳の交付を受けた方です。

タクシー利用券の有効期限は令和3年3月31日(水)までです。利用方法など、詳しくはお問い合わせください。

☎ ひらつかネウボラールーム はぐくみ ☎59-9570

新生児特別給付金を 支給します

国が支給する特別定額給付金(1人当たり10万円)が受け取れない新生児に対し、市が1人当たり10万円を支給します。対象は、申請時点で市内在住の令和2年4月28日～令和3年4月1日(木)に生まれた子どもです。

申請期間は令和2年9月1日(火)～令和3年5月10日(月)です。支給の対象になる子どもの保護者宛てに、申請書と案内を、令和2年8月中旬以降に郵送します。申請方法や必要な書類など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

☎ 健康課 ☎55-2111

ひとり親世帯に 臨時特別給付金を支給します

新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し、収入が減った方に対して、国が給付金を支給します。給付の目安は、扶養する子どもが1人の場合で家計急変後の所得が19万1,000円(2人の場合は22万3,000円)未満です。支給額は1世帯5万円、第2子以降は1人3万円です。

申請する場合は、こども家庭課にお問い合わせください。児童扶養手当が認定済みの方は、7月中に送付した案内通知で詳細を確認してください。

☎ こども家庭課 ☎21-9844

感染症と熱中症をしっかりと予防しましょう

新型コロナウイルス感染予防のため、日常生活の中での対策を引き続きお願いします。「密閉・密集・密接」の三つの密を避けることに加え、下記の三つの基本的な対策をしっかりと実践しましょう。

① 距離の確保

人との間隔はできるだけ(最低1m以上)空けて、会話をする時は真正面を避けましょう

② マスクの着用

屋内にいる時、会話をする時などはなるべくマスクを着けましょう

③ 小まめに手洗い

帰宅時や食事前など、小まめに手洗いや手指消毒をしましょう。手洗いは30秒程度かけて水とせっけんで



新型コロナウイルス感染予防に加え、この時期は、熱中症への警戒も必要です。下記のポイントに注意して暑さを乗り切りましょう。

- ▶ 屋外で人と十分な距離(2m以上)がとれる時は、マスクを外しましょう
- ▶ のどが渇いていなくても、小まめに水分補給しましょう。1日当たり1.2ℓが目安です。大量に汗をかいた時は塩分補給も忘れずに
- ▶ 涼しい服装を心掛け、外出する時は帽子や日傘を使いましょう。少しでも体調が悪くなったら、涼しい場所へ
- ▶ 毎日の体温測定など、定期的な健康チェックをしてください。体調が悪いと感じたら、無理せず自宅で休みましょう



屋外で体を動かす交流活動も再開しています

感染症と隣り合わせの生活が当面続くため、市では先月、第2波・第3波への警戒、市民生活や経済活動の支援などからなる「総合対策」を発表しました。特に、感染症で変わ

る社会を見据え、テレワークやオンライン教育などデジタル化の施策も取り入れたのが特徴です。しかし、デジタル化でできることには限界があります。ITやロボットを駆使して省力化、効率化を図ることはできますが、人が触れ合うことでしか伝わらないもの、得られないこともたくさんあります。心豊かな社会につながる人間らしさを置き去りにしてはいけないと思うのです。

そこで、「総合対策」には、地域のつながりを深める取り組みも盛り込みました。地域社会では、対話や協働作業などを通じて育む共感が大切です。地域の絆をしっかりとつなぎ留められるよう支援を広げていきます。平塚市ならではの助け合いの取り組みとして、町内福祉村があります。先の堀田会長は、平成28年に開催した地域福祉のフォーラムで対談したとき、町内福祉村を「全国に誇れる先駆的な取り組み」と称賛してくださいました。今号1～3面では、町内福祉村など再開した地域活動を紹介します。当面のコロナ危機へ確実に対応しながら、新しい地域社会のあり方を、皆さんと一緒に探っていきたくて願っています。

市長コラム 落合克宏

心豊かな社会とは

